

作成日 2019/04/09
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ろうワックストラック荷台用 スティックハンディータイプ
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M210917

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(経皮) 区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
H320 眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き
安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

保管

気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
石油系炭化水素	99.990%	不明	不明	不明	不明
添加剤	0.010%	不明	不明	不明	不明

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

清浄な水で十分洗い、もし刺激が残っていれば、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で十分洗浄し、皮膚調整用クリームを塗布する。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移る。体を毛布などでおおい、保温して安静を保ち必要なら医師の診断を受ける。呼吸が止まった場合及び呼吸が弱い場合は衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

飲み込んだ場合

無理に吐き出さずに、速やかに医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置

消火方法

火元への燃焼源を断つ

初期の火災には粉末、炭酸ガスを用いる。

大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

周囲の設備などは散水して冷却する。

消火作業の際には、風上から行き必ず保護具を着用する。

火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火剤

霧状の強化液・泡・炭酸ガス・粉末が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置

すべての着火源を速やかに取り除き、漏洩箇所の漏れを止める

危険地域から人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り人の立ち入りを禁止する。

消火用機材を準備する。作業では消火用保護具を着用する。

少量の場合は、土・砂・おがくず・ウエス等を吸収させる。大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い空容器に回収する。

下水道、河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。

室内で漏出した場合は、窓・ドアを開け十分に換気を行う。

海上の場合は、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、すくいとったり吸着マットなどで吸取る。薬剤を用いる場合は運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

漏洩時は、事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係当局に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

食べないこと。
 子供の手の届かない所に置くこと。
 皮膚に触れたり、目に入る可能性のある場合は、保護具を着用すること。
 蒸気やミストを吸入する可能性がある場合は、呼吸器具等の保護具を着用すること。
 3トン以上の石油系ワックスを取り扱う場合には、火災予防条例準則市町村条例で定められた基準に従うこと。
 石油系ワックスが残存している機械設備などを修理する場合は、安全な場所において、石油系ワックスを安全に除去した後に行うこと。
 容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗悪な取扱いはしないこと。
 容器は取り出すときはポンプなど使用すること、細管を用いて口で吸い上げてはならない。
 静電気対策を行い、作業着・靴等も導電性のものを使用する。
 炎・火花または高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。
 石油系ワックスを屋内作業場で取扱い際、ガス等が発散する場合には、発散源の密閉装置・局所排気装置などの設備を設けなければならない。
 取扱いの都度、容器を密閉すること。

保管

直射日光を避け、暗所で換気の良い場所に保管すること。
 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類はアースをとる。
 3トン以上の石油系ワックスを保管する場合には、火災予防条例準則及び市町村条例で定められた基準に従うこと。
 熱・スパーク・火炎ならびに静電気の蓄積を避ける。

容器の取扱い

容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。
 容器は溶接・加熱・穴あけまたは切断しないこと。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)		
石油系炭化水素	未設定	未設定	TWA 2 mg/m3,		

設備対策

ミスト及び蒸気が発生する場合は、発生源の密閉化または防爆タイプの排気装置を設ける。取扱い場所の近辺に洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸保護具:ミスト、蒸気が発生する場合は、防塵マスク(有機ガス用)を使用する。
 保護メガネ:ミスト、蒸気が発生する場合は、保護眼鏡を使用する。
 保護衣:長時間にわたり取り扱う場合または油で汚れる場合には、耐油性の長袖作業服を着用する。油で汚れた衣類は完全に清浄して使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
 形状
 色

固体
 固体(ワックス状)
 白色

臭い

臭いのしきい(閾)値

データなし
 データなし

pH

融点・凝固点

データなし
 57°C

沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		230°C
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		0.801g/cm ³ (15°C)
比重(密度)		データなし
溶解度		不溶(水)
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		安定性 良・反応性 なし
化学的安定性		情報なし
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。
	経皮	急性毒性推定値が3601.360136mg/kgのため区分5に該当。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分外に変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		眼区分2Bの成分合計が99.99%のため、区分2Bに該当。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		
呼吸器感作性又は皮膚感 作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性)
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性)
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		データ不足のため分類できない。 区分3(気道刺激性)の成分合計が99.99%のため、区分3(気道刺激性)に該当。
吸引性呼吸器有害性		データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託し処理す 投棄禁止 廃油の埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃え殻については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。 焼却する場合は、安全な場所であつて焼却または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張人をつけること。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
消防法 海洋汚染防止法		固形パラフィン(政令番号:170)(90%以上) 非危険物 指定可燃物 可燃性固体類 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(X類同等の物質)(環境省告示第148号第1号)
外国為替及び外国貿易法		輸出貿易管理令別表第1の16の項

労働基準法

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。